



文化的謙虚さ

に対応したスーパービジョン

多様な文化や価値観が交わる社会のなかで、ソーシャルワーカーには、ますます文化的謙虚さ（Cultural Humility：自分の限界を知り、学び続ける姿勢）が求められます。スーパービジョンの中で利用者とワーカーの「違い」、またバイザーとバイジーの「差異」をいかに取り扱うのかも、大きな課題です。

本研修では、文化的謙虚さをいかに醸成できるかを学ぶ機会にします。ワークショップを通して、バイザーとバイジー両者のリフレクションの質を高めていくことを目指します。

2025年度研修を基に、「文化」の捉え方を深め、SVへの応用を検討する改訂版プログラムです。

日程変更になりました

講師 野村豊子

日時 2027年2月6日（土）13:00-17:00

場所 全国家電会館 東京都文京区湯島3丁目6番1号

参加費 無料

受講対象者 スーパービジョン経験のあるスーパーバイザー

定員20名（先着順）



日本福祉大学ソーシャルワークスーパービジョン研究ハブ

本研修は、文化的謙虚さ訓練/研修プログラム開発研究の一環として実施します。

JSPS科研費 JP24K05373の助成を受けています。

研究の趣旨をご確認のうえ、お申し込みください。＊1/31（土）申し込み締め切り

お申込み先 <https://svr-culturalhumility.peatix.com>



「伝える」から、「ともに問い直す」へ 文化的謙虚さをスーパービジョンの力に。



文化的謙虚さとは、自分が他者の文化や経験を完全に理解できるわけではないことを自覚し、自分の思い込みや権力性を継続的に問い直しながら、相手との対話を通して支援のあり方を考え続ける姿勢です。知識を増やして相手を理解するというよりも、「理解しつくすことはない」という前提に立ち、自分の偏りを点検し続けます。スーパービジョンにおいても、バイザーとバイジー間の差異、バイジーとクライアント間の差異をどのように取り扱うのが課題になります。

そこで本研修では、①スーパーバイザーの権力を問い直すこと、②スーパービジョンにおける文化的謙虚さを体験することを目的とします。

【研修プログラム】

- 講義「文化的謙虚さとは何か」
- リフレクティブワーク「スーパーバイザーの『権力性/特権』を振り返る」
- 演習「『分からない』から始めるスーパーバイジーとの共同セッション」

【こんな人におすすめです】

- ・ スーパーバイジーアセスメントをさらに深めたいと思っている方
- ・ スーパーバイザーの権力性・特権を振り返ってみたい方
- ・ 自分の「あたりまえ」を問い直してみたい方
- ・ 「文化的謙虚さ」という新しい概念に関心がある方
- ・ スーパーバイザーの思いを「指導する」のではなく、スーパーバイジーと共に考えられるような問いかけ方を習得したい方



ご参加をお待ちしております！

日本福祉大学ソーシャルワークSV研究ハブ

本研修は、文化的謙虚さ訓練/研修プログラム開発研究の一環として実施します。JSPS科研費 JP24K05373の助成を受けています。

お申込み：<https://sw-culturalhumility.peatix.com>

申し込み締め切り 1/31

